

# AIへの投資能力の創出 は、よりスマートなITラ イフサイクルから

組織が既存資産の価値を拡大することによってイノベーションに出資する方法



AIイノベーションのための予算を捻出することが、かつてないほど困難かつ急務になっています。インフレ率の上昇や予算の縮小から関税や地政学的緊張まで、さまざまな要因により、企業は割り当てる資金のすべてを精査せざるを得なくなっています。しかし、ほとんどのITリーダーは、AIの流れに乗る機会を逃すと組織にとって壊滅的な結果を招く可能性があることを認識しています。

この状況は困難ですが、克服することが不可能ではありません。なぜなら、組織にとって、見落とされがちな資金源、つまりスマートなIT管理が目の前に存在するからです。機能しているシステムの寿命を延ばし、経済的耐用年数に達した機器を効果的に管理することで、ITリーダーはレガシー資産から隠れた資本を解放し、それを優先度の高いAIプロジェクトに活用できます。

「大規模なAIイノベーションに必要な資本について妥協する必要はありません」と、HPEファイナンシャルサービス (HPEFS) のシニアバイスプレジデント、Brad Shapiroは述べています。「私たちが商談するCFOやビジネスリーダーの大多数は、既存のIT予算内でやりくりして、AIへの段階的な出資を実現する必要があります。このようなバランス調整は、他の重要なプロジェクトに悪影響を及ぼすことがよくあります。ですが、隠れた資本を解放すると、多くの場合、驚くべき価値が解き放たれ、組織はより多くのビジネスクリティカルな投資に取り組むことができるようになります」

## 同じリソースでより多くの成果を実現

資本の解放は考慮すべき諸要素の一部に過ぎません。企業がハイブリッド、マルチクラウド、およびエッジ環境へと進出するにつれて、分散した地域やワークロードの全体にわたるIT資産の管理がますます複雑になります。よりスマートなライフサイクル戦略を採用することで、ITチー

ムは、スプロール化に対処し、機器を保持、廃棄、または再配置する時期についてより詳細な情報を得た上で判断を下すために必要な可視性と構造が得られます。

組織がこのアプローチから得る価値は劇的なものになる可能性があります。たとえば、HPEFSは2024年度に340万件のIT資産を処理しました。これは自由の女神像48体に相当する重量です。そしてこれらの資産の83%をサービスに復帰させ、残りを責任を持ってリサイクルした結果、1日あたり約110万ドルが顧客の財源に還元されました。

IT予算の拡大に加えて、その還元利益は部門横断的な変革も推進します。マーケティング、人事、財務、運用の各チームはAI対応システムへの依存度を高めており、新たな予算を要求することなくこうしたツールに出資できることが高い競争力へとつながります。

「スマートなIT資産管理により、『運用を継続しながらAIプロジェクトに出資するにはどうすればよいか』という論点は、『よりスマートなIT管理によって節約した資金をどこに再投資できるか』という論点に変化しつつあります」と、Shapiroは述べています。

## テスト実行から次の段階へ

組織があらゆる場所でAI予算の拡大を目指し、パイロットから価値創造へスケールする中、より賢明なアプローチが業界全体でますます重要になっています。AIによって、限界を打ち破り、ビジネスと顧客体験の大幅な改善を実現するための、一世代に一度あるかないかのチャンスが生まれると彼らは考えています。そのため、IDCは、AIアプリケーション、インフラストラクチャ、および関連サービスへの世界的な支出が、2028年までに2倍以上の6,320億ドルに達すると予測しています<sup>1</sup>。

<sup>1</sup>“Worldwide Spending on Artificial Intelligence Forecast to Reach \$632 Billion in 2028, According to a New IDC Spending Guide,” IDC, Aug. 19, 2024.

多くのトップ企業がすでにこの転換に加わっています。ある国際銀行は最近、50,000を超えるワークロードをHPE GreenLakeクラウド上に構築されたプライベートクラウド環境に移行しました。この取り組みにより、同行はレガシーシステムを廃止し、エネルギー使用量を削減し、ITリソースの利用率を向上させ、将来のAI統合の出発点を築くことができました。よりフレキシブルかつサステナブルなインフラストラクチャにより、同行はゼロから環境を構築することなく新しい機能を拡張できるようになりました。

このような将来を見据えたモダナイゼーションは、AI対応にとって不可欠です。フレキシブルなインフラストラクチャの基盤がなければ、データのモビリティを制限し、リスクを増大させ、運用コストを押し上げるレガシーシステムがAIプロジェクトのボトルネックになる可能性があります。

## 再利用、再投資、反復

このモダナイゼーションは、プライベートクラウドインフラストラクチャが、長期的な資産戦略と組み合わせることで、イノベーションとレジリエンスの出発点となることを示した一例にすぎません。他の組織でも、これらの資産管理戦略を適用し始めています。たとえば、別のSaaSベースの銀行では最近、HPEのアップサイクルプログラムを利用して、老朽化したサーバー9台を廃止し、その売却代金をより新しく、よりエネルギー効率の高いインフラストラクチャに再投資しました。また、あるヨーロッパの銀行は、資産再販クレジットから仮想ウォレットを構築し、その資金を使って認定中古IT機器を購入し、サーバーの再利用率86%、PCの再利用率94%を達成しました。

こうした動きは、経済的に意味があるだけでなく、組織がより広範なサステナビリティの目標とコミットメントを達成するうえでも役立ちます。実際、AIワークロードがより多くの電力と冷却を必要とするにつれ、資産の寿命を延ばし、電気電子機器廃棄物を削減する能力を持つことは、責任あるIT計画にとって重要になります。

「現在の政治情勢下でも、お客様との会話のほとんどで、循環経済と電気電子機器廃棄物の削減について話題になります」と、Shapiroは述べています。「ほとんどの企業は、サステナビリティが長期的な必須事項であることを認識しています。そして、サステナブルなソリューションとコスト削減につながるソリューションやアプローチを組み合わせれば、それが自社の将来にとって大きなメリットとなることを把握しています」

循環経済とは、物質が廃棄物にならず、自然が再生されるシステムです<sup>2</sup>。世界経済フォーラム、Bain & Co、およびケンブリッジ大学による最近のグローバルな調査によると、現在、企業の75%が循環性を重要または極めて重要と考えており、約95%が今後3年間もそうであると予想しています<sup>3</sup>。

## 長期間のサポート

もちろん、すべてのIT部門に、既存の機器から最大限の価値を引き出すための人材や財源があるわけではありません。そのため、HPEFSでは、取得から保持までのライフサイクル全体にわたってIT資産を管理し、最適な使用と価値の抽出を実現するために必要な専門知識を提供しています。また、HPEFSは、そのTech Renewal Centersを通じて機器の改修と再利用を促進することによって、ITサステナビリティをサポートし、循環経済と廃棄物の削減に貢献しています。

HPEのファイナンスおよび資産管理の専門家は、お客様が既存のテクノロジーを最大限に活用できるよう引き続き支援します。IT資産管理を再考することで、組織はHPE Private Cloud AIなどのテクノロジーに投資し、よりサステナブルで革新的な未来への道を切り開くことができます。



<sup>2</sup> [“What is a circular economy?”](#) Ellen MacArthur Foundation.

<sup>3</sup> [“The circular transformation of industries: Unlocking economic value,”](#) World Economic Forum, Dec. 17, 2024.

詳細はこちら

[HPE.com/ai](https://hpe.com/ai)



[HPE.comにアクセス](https://hpe.com/ai)

[今すぐチャット](#)

© Copyright 2025 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パカードエンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

a50013435JPN

HEWLETT PACKARD ENTERPRISE

[hpe.com](https://hpe.com)

